

1 号様式

記録者 事務局次長兼議事調査係長 齊藤 美穂

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	令和5年4月4日（金）
招集の場所	議員控室
開会	午後1時28分
出席者	委員長 柳田 政喜 副委員長 伊藤 牧世 委 員 平吹 俊雄 委 員 吉田 二郎 委 員 鈴木 恵悦 委 員 村松 秀雄 議 長 鈴木 宏通
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏 名	事務局次長兼議事調査係長 齊藤 美穂
協議事項	1) 調査研究テーマの進め方について
その他	
閉会	午後3時09分

2号様式 協議の経過

	開会 午後1時28分
柳田委員長	それでは、ただいまより第17回の教育民生常任委員会を開催させていただきます。ただいま、委員6名出席ですので、当委員会は成立いたしております。 私のほうの挨拶は特別ないということで、早速、会議事項に入っていきたいと思っておりますけどよろしいですか。（「はい」の声あり） はい本日は調査研究テーマの進め方についてという形で進めていきたいと思っております。当委員会の調査研究テーマといたしまして、子どもの貧困と食事というテーマで行っておるところでございます。 今回のテーマにつきましては、1年間で、前回のテーマは1年で終わるか2年で行くかという形でしたけど、今回は1年という、当常任委員会の任期中に終わらせなきゃいけません。スケジュールとしまして、皆さんにお渡ししたとおり、10月には議会懇談会、11月はテーマのまとめ、12月会議に常任委員会報告書提出という形になってまいります。 そうしますと、スケジュール的に、その前に、各担当課だったり、いろいろなところに対する聞き取り、懇談の場を設けたり、あと所管事務調査に行き、まとめるという作業をしなければならないことになってまいります。この3つに関しては、10月11月12月がございまして、その前ということになります。 そうしますと早急に取り組んでいかないといけないという形になってまいりますので、皆さんそこを、心にとめておいていただきたいと思っております。 先ほど言いました予定ですけども、5月、6月には、それぞれのところと聞き取りだったり、懇談などを行って、6月末か7月に所管事務調査に行かなければいけないかなというところがございます。 それをまとめた上で10月の議会懇談会に、当たるというスケジュールになってくると思いますので、それに合わせた形でテーマの中で、この部分を詰めてどのような形にしていくかということで、よろしくお願いします。 大枠のテーマはあくまで子どもの貧困と食事でございます。お願いしたとおり皆様のほうから、こういう部分に取組みたいという部分、前回意見いろいろもらいましたけども、まず、給食についてのアンケート調査、3月の審議の最中に、教育委員会のほうからいただきまして皆様の御手元にお渡ししていますけども、そちらのほうも見た上で、今回の、子どもの貧困と食事についてどこの部分に行きたいか。 それでもう1回聞いたほうがいいですかね。前回聞いたときある程度、給食無償化、給食事業、貧困格差、子ども食堂、ひまわり食堂とかという話でありましたけれども、もう一度お聞きしたいと思います。 その前にちょっと1つだけ1点報告させていただきます。

	まず子ども食堂につきましては、皆さんにお話ししたとおり、ちょっと秘匿性が高いと。 いうところで、ボランティアで行っている団体でもあり、自分たちの行える形で行っていくので、あまり、行政のお手伝いは必要としていないというお話をいただいております。 子ども食堂に関しましては、興味ある方は、いろいろと協力するのはいいですけども、常任委員会のテーマとしてはふさわしくないということで、今回、見送りさせていただくことといたしました。そういった中、社協さんがフードバンクという事業ですね行っております。そちらにつきましては、皆さんのほうに裏表でお渡しした資料ありますけど、こちらで社協さんの行っている状況がある程度確認できるところであります。実施状況とかいろんな部分でお聞きしながら、お手伝いできるのかなという部分もありまして、私からの提案として、1つ、フードバンク、フードドライブという形でお渡ししたところがございます。 それと、先ほども言いましたけども、給食のアンケート結果も出ております。 再度、皆様から、テーマのここの部分に絞ってとかこの部分をやってみたいとか、もう一度聞きたいと思います。 よろしいですか。皆さんから子どもの貧困と食事というテーマの中でここをやりたいっていう部分がありましたら、その提案も結構でございますので、一旦休憩いたしまして皆様のお話を聞きながら進めていきたいと思いますが（「委員長1つ」の声あり）はい吉田委員。
吉田委員	子どもの貧困と食事っていうテーマなんですけども、子どもの貧困は分かりましたけども、その食事っていうのは、委員長のお話ですと、給食のほうのウエイトっていうか給食のことしか出てないんですけどもさ。そっちのほうのを私たちの調査のテーマとしていくんだか、あるいは一般的な、食事ってとらえている食事ていくのかどちらなのか。
柳田委員長	あくまで、子どもの貧困と食事というテーマにさせてもらってますので、吉田委員が言ったとおり、給食が貧困を助けるための唯一の食事になってるとか、給食費支払い出来なくて無償化にしようという話も当然あります。 それ以外にも今言ったフードバンクにつきましても、貧困で困窮している家庭に、皆さんからいただいたものをお配りするっていう形で、それで子どもたちの食事の足しにしてもらおうっていう子ども達だけに限ったものではないんですけども、そういう意味でも貧困と食事っていう形で、子どもたちに行き渡っているのかなっていう部分も調査することできると思いますので。今のところ提案としてはこの2点が、皆さんで進めてきた中ではあるのかなと思ってるところであります。 ほかに皆さんのほうから、こういう部分あるという方は提案をお願い

	したいんですけども、一旦休憩いたしますので。 休憩いたします。
	休憩 午後１時３８分 再開 午後１時４４分
柳田委員長	再開いたします。 今、休憩中に皆さんからいろいろと進め方についてお話を伺いました。それで今回のテーマ、子どもの貧困と食事ということですけども、まず最初に、貧困調査そちらのほうを進めるべきであると。その結果のあとに子どもの食事のほうに踏み込んでいくべきということですので、まず最初、子どもの貧困調査の状況確認ということをしていきたいと思います。どのようにして確認してまいりましょうか、意見いただきます。はい鈴木委員。
鈴木委員	そうですね、私もちょっと言いましたけども、貧困の定義ですよね。何をもって貧困かっていうところの定義を決めないと、調査もちょっと難しいかと思うんですけども。ちょっと前に資料を調べた中で、生活保護世帯、児童擁護世帯、ひとり親世帯、ただそれが全部貧困かということそういうわけではないんですね。やっぱりその中でも所得、結構ある人もいますので、どこで、貧困という線を引くかっていうところを、まずもって、我々で意思統一、共有しておりたほうがいいかと思います。
柳田委員長	はいありがとうございます。 そうですねその説明が抜けてました申し訳ありません。 まず、貧困というものにつきまして、１年ぐらい前ですかね、子どもの貧困調査を行った結果を、子ども家庭課で報告してるとしています。そちらのデータを持っているはずですので、まずそちらを、見せてもらいながら、それが第一歩になるのかなと思っております。 それと今、鈴木委員のほうからちょうどいい話を出してもらったのでお伝えしますが、生活保護になりますと、貧困には該当せず、給食費無償化も該当しない、生活保護の中に給食費も含まれているからですね。生活保護受給世帯は貧困から外れるっていう形になる、そこもちょっと確認してみなきゃ分かりませんがそういう部分もあると思います。 今、お話しいただいたとおり、まず最初、子ども家庭課のほうに対して、前回の子どもの貧困調査の結果の情報提供と共に懇談を申し込むような形でいかがでしょうか。意見交換会ですね、意見交換を申し込むような形で進めてよろしいですか。（「はい」の声あり） それでは、早速、そちらの日程を決めて進めていきたいと思います。 一旦休憩いたします。
	休憩 午後１時４７分 再開 午後３時０９分

柳田委員長	再開いたします。 皆さんと子どもの貧困と食事というテーマにつきまして今後のスケジュールを、休憩中に検討させていただきました。 まず、子どもの貧困の実態の確認におきましては、美里町子どもの生活に関する実態調査集計報告書というのがネット上で見られますので、次回までこちらを見てきて町の状況の確認をしていただきたいと思います。 それと共に、まだ提案でございますが、4月20日、3時から、美里町社会福祉協議会に意見交換を打診をしまして、フードバンク等の現場の実態調査を、美里町社会福祉協議会の皆さんと意見交換をしながら確認していきたいと思っております。 4月20日の3時からが社会福祉協議会が都合悪い場合は、その次の常任委員会の予定の日時で、同じように組んでいただきたいと思います。 その次の教育民生常任委員会の予定日時が5月11日9時半になっております。 以上のように、休憩中に決定いたしました。 皆さんよろしいでしょうか。（「はい」の声あり） それでは次回の教育民生常任委員会に向けて、皆様で、今回のテーマに沿うような、視察研修先、先進地ですね、子どもの貧困に関する先進的な施策を行っている自治体等いろいろ調べてきていただきたいと思いますけどよろしいでしょうか。（「はい」の声あり） 皆さん一応ネット等でちょっと調べながら、子どもの貧困に関する、食事に関する部分で優秀な施策を行っている自治体を調べてきていただきたいと思います。今回の所管事務調査につきましては、1泊2日です。ですから、いけて2か所です。近ければ2か所行けるといいますので、その辺を含めて移動も考えた上で、次の常任委員会まで皆さん提案できる候補を2か所まで設定していただければ助かります。 ただし先ほど申しましたとおり、4月20日の社協との意見交換会が流れた場合は、同じ11日、社協さんの都合に合わせて開催しその後に、常任委員会を開くという形になりますので、ダブルヘッダーになります。5月11日の常任委員会開催は確定です。
村松委員	この4月20日社協との懇談が駄目な時は、20日は流れるんですね。
柳田委員長	4月20日駄目なときは流れます。5月11日になります。 以上になりますけどよろしいですか。（「はい」の声あり） ほかに皆さんからありますでしょうか。 今回のテーマに関しましては、日程がタイトでございます。 ちょっとなかなか、時間とれずに、委員会開催も少ない中で進めていかなきゃないと思いますので、ぜひとも皆さんの協力よろしく願いし

	ます。ほかにございせんか。（「はい」の声あり） 事務局から何か連絡ございますか。（「ありません」の声あり） 最後に副委員長のほうから御挨拶をお願いします。
伊藤副委員長	お疲れさまでした。 子どもの貧困という非常に大きなテーマなんですけれども、少しでも美里町の子どもたちの貧困の状態が改善できるような、方向に向かえばいいかと思っています。 本日は大変お疲れさまでした。
	閉会 午後 3 時 12 分

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 5 年 4 月 4 日

教育、民生常任委員会

委員長